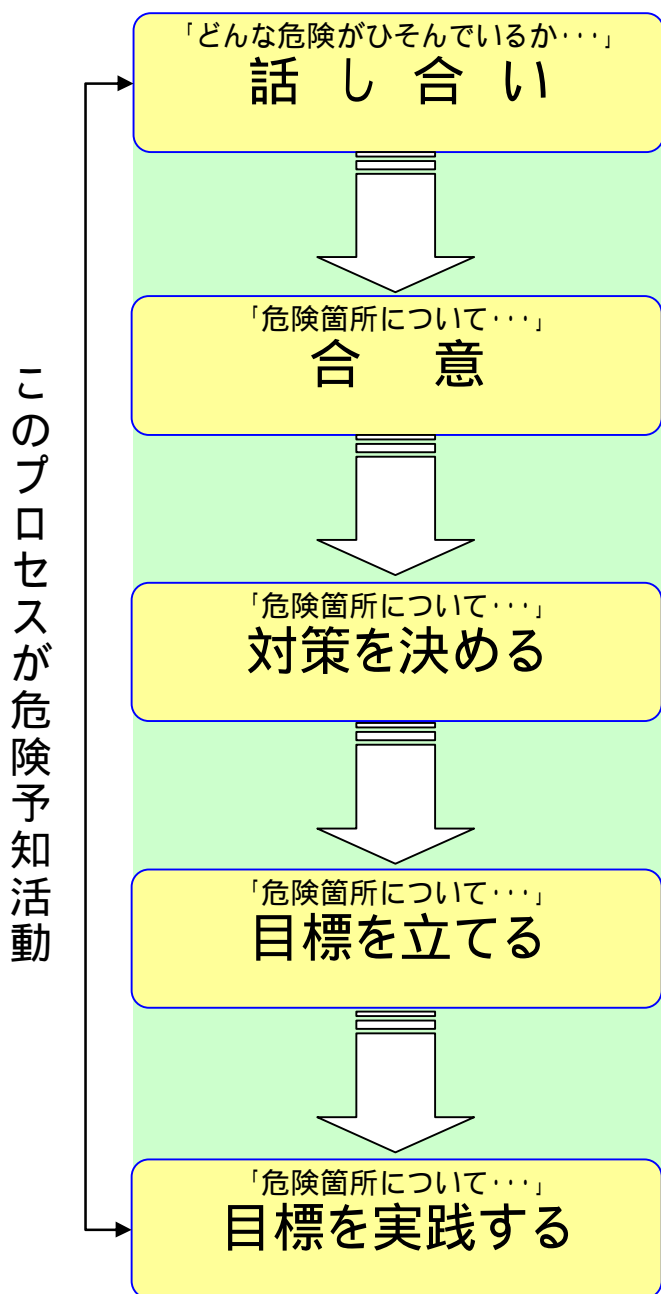


# 4・危険予知活動とは・・・



事故・災害をゼロにするには、事故を起こして痛い目にあう前に、職場のみんなで話合って、安全を「先取り」することが大切です。先取りするために・・・。

作業を始める前にその作業に「どんな危険がひそんでいるか」を職場で話し合い危険ポイント(危険箇所)を合意します。次に対策を決め、目標をたて一人一人が作業の中で実践します。

このプロセスが危険予知活動です。

人間は誰でも、「ウっかり」「ボンヤリ」したり、錯覚をします。横着して近道や省略もします。このような人間の特性が誤った動作や作業などのヒューマン・エラー(人間のミス)をもたらし、事故・災害の原因となります。そして、事故・災害の多くはヒューマン・エラーによるももです。

このヒューマン・エラー事故をなくすには、機械設備など物の面の対策と、安全についての知識・技能の教育など管理面の対策がまず必要です。そしてそれに加えて、一人一人が危険に対する感受性を鋭くし、作業の要所所で集中力を高めることが欠かせません。危険予知活動は、このための活動です。

月 日 危険予知活動表		
作業内容		
危険のポイント	私達はこうする	
	1 ページ	
( )の安全目標		
会社名	リーダー名	作業員 名
作業員のサイン		

## 危険予知訓練と危険予知活動

危険のK、予知のYとそれぞれ頭文字をとり、これに訓練(トレーニング)のTを加えたのがKYTです。訓練と区別して、職場で実践するものを危険予知(KY)活動といています。ただし、職場のKY活動を高いレベルのものにしようとするれば、当然そのための根気強い毎日のトレーニングが必要です。したがって、ここまでが訓練(T)であとは活動というように、はっきりと区別することは出来ません。